

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第9回津有区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項（公開）

・津有区の特長を生かした地域活性化策について

① 地区アンケートの実施について

② 津有区パンフレットについて

③ 地域活性化の方向性の作成について

3 開催日時

令和5年1月23日（月）午後6時30分から午後8時まで

4 開催場所

津有地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：青木雄司、大滝英夫、千代金治、相馬祐一、中島 功、藤本孝昭（会長）

古川勝夫、古川 仁（欠席3名）

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【山崎主事】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【藤本会長】

- ・会議録の確認者：古川 仁委員

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」に入る。

最初に「① 地区アンケートの実施について」、事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・地区アンケート実施に向けた準備状況の報告
- ・資料1のとおり再修正案を説明

【小林センター長】

- ・補足説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、質問を求める。

【青木委員】

各町内へは2月の終わりに配布ということだが、広報上越と一緒に配布するのか。

【小林センター長】

その通りである。広報上越と同時に配布する予定である。

【千代委員】

アンケートの問4の選択肢に、単独で「お米」とあるが、例えば「野菜もおいしい」と思う人もいるかもしれない。

【小林センター長】

回答者の中にはもちろん「野菜」と答えたい人もいるかもしれない。その場合は、選択肢の中に「その他」という欄があるので、ここに記入していただきたい。今回は代表的なものとして「お米」を選択肢に入れている。

【藤本会長】

他に質問はあるか。

(発言なし)

私は今、ウェブアンケート用の二次元コードを読み取ってみた。ウェブアンケートでは、問8の答え方が少し違っている。

用紙で回答する人は、問5から問7を見返して、最も優先すべき取組の番号を記入することになっている。一方、ウェブアンケートの場合は、問8の中に、問5から問7のすべての選択肢が列挙されているので、その中から一つを選択するようになって

いる。用紙とウェブでは少しやり方が違うようだが、結果は同じになると思う。

【小林センター長】

それは修正が追いついていないだけかもしれないので、実際に配布するときまでに確認しておく。

【藤本会長】

他に質問がなければ、アンケートの再修正案について審議する。

前回よりも文字を大きくしたり、イラストを入れたりして、デザイン的に見やすくしたということ。それから、バランスを考えて設問の選択肢を一部変更したということであった。

一つずつ確認する。

まず、「はじめに」の質問は問題ないと思う。

次に「暮らし」の問1から問3について、中郷区の内容をベースに一部修正があったということだが、これでよいか。

(よしの声)

次に「魅力や自慢」の問4について、先ほどお米の話があったが、この選択肢の中にはない場合は、その他欄に記入できるということである。これについてもよいか。

(よしの声)

次に「重要な取組（分野別）」ということで、問5は観光・産業の分野である。ここでは「商工業の活性化」という選択肢を追加したという説明があった。問6は教育文化の分野、問7は地域福祉の分野についてである。そして問8では、問5から問7で選んだ回答のうち、最も優先すべきものを一つだけ選んでもらうようになっている。最後には自由記述欄も設けてある。

変更点について問題ないか。

【千代委員】

問合せ先を書きおいた方がよいのではないか。

【藤本会長】

表紙に書いてある。

【千代委員】

見落としていた。

【藤本会長】

他に意見等がなければ、この内容で準備を進めてよいか。

(よしの声)

それでは、いただいた意見を基に、事務局から準備を進めてもらうこととする。

以上で「① 地区アンケートの実施について」を終了する。

次に「② 津有区パンフレットについて」、事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料2に基づき、今後の見通しを説明
- ・資料3に基づき、パンフレット作成委員会の役割や構成員について提案

【小林センター長】

- ・補足説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、一つずつ確認していく。

資料2については、私たちの現在地の確認である。これらは今まで進めてきた流れなので、この内容でご了承いただけるか。

(よしの声)

では次に資料3の津有区パンフレット作成委員会について確認する。

まず「1 役割」について質問や意見を求める。

【相馬委員】

構成員の中に小中学校の校長先生が入っているが、彼らは津有区の出身ではないと思う。津有区について分からない部分もあると思うので、少し心配である。

【藤本会長】

今の意見は「4 構成員（案）」に関する内容だと思う。その件は後ほど協議する。

次に「2 会議の開催」について質問や意見を求める。

事務局に質問だが、作成委員会はこの地域協議会とは別に開催するということか。

【小林センター長】

そうである。作成委員会は地域協議会とは別で考えている。

【藤本会長】

そうすると、委員全員で集まらなくても、Aグループはこの日、Bグループはこの日、というようなこともあり得るということか。

【小林センター長】

そうである。

【中島副会長】

会議の開催について、私たちは夜の時間帯でもよいが、外部の人から来てもらう時には、昼間の方がよいと思う。先方の都合もあるので、毎回夜に来てもらうわけにはいかないと思う。

【小林センター長】

今ほど副会長から発言があったように、今回は充て職という形で委員になっていただくことを想定している。そのため校長先生や歴史博物館の方に関しては、公務中の会議のほうが出席しやすいということもあり、昼間に集まっていただくことも考えている。

ただ、そうすると逆に日中仕事をしている人は参加が難しくなる。

そこについては双方の意見を聞いて、昼間や場合によっては夜にお願いすることも出てくると思う。その点はお任せいただきたい。

【藤本会長】

第1回目の委員会については、全員揃って方針の確認などをする必要があると思うが、その後はグループごとに柔軟に考えていくことになると思う。

そのほか、中間報告や最後の報告では全員で集まることもあると思う。自身の仕事を優先することは当然のことなので、どうしても都合が付かない場合は、情報共有を密にして無理のないように進めていけばよいと思っている。

【千代委員】

会議の会場は公民館か。それとも学校に集まってやるようなこともあるのか。

【小林センター長】

会場はこちらで確保する。

先ほど昼間の会議という話もあったが、なかなか全員が参加することは難しいと思う。そのため、そこは事務局で欠席者への引継ぎや情報共有などをして、柔軟に対応していきたいと思う。

【藤本会長】

事前に資料を配布して、欠席者には事前に意見聴取しておくという方法もある。やってみないと分からないが、できるだけ皆さんの意見が反映できるように工夫する。このように進めることとしてよいか。

(よしの声)

次に「3 ページ分担」についてである。分担だけでなく、パンフレットの中身の項目もある程度詰めなければいけないので、ここはかなり重要になってくる。以前配布したパンフレットの試作品も参考にしながら、このグループの分け方や中身について意見を求める。

(発言なし)

委員会で話し合う中で中身が変わってくることもあると思うが、おおよその全体のコンテンツの方向性はこのとおりでよいか。

特に意見がないようなので、資料のとおりとする。細かい部分は各グループにある程度お任せしたいと思う。

それでは最後に「4 構成員 (案)」についてである。

先ほど相馬委員から「小中学校の校長先生は地元の人ではないが、よいのか」という意見があった。これについて皆さんはどうか。

確かに各校長先生は津有区出身ではないが、地域のことを相当勉強されている方や、津有区の近隣に住んでいる方、数々の小中学校を渡り歩いてきて造詣の深い方である。

【小林センター長】

事務局から、今回の構成員の提案に当たっての経緯を説明する。

津有区のパンフレット作りについては、当然津有区に精通した人の目線は必要だと思う。ただ、これは外部にも発信するということもあるため、外部の目線も必要になってくる。

また、学校教育という目線を見た時にどう見えるかという意見も貴重なものである。特に戸野目小学校は150周年という節目の年でもあり、発信したい内容もあると思う。津有区のパンフレットに載せて紹介することで相乗効果も期待できるので、やはり学校の先生からも入っていただき、上手く委員の皆さんから調整していただけると、深みのある豊かな内容になると思っている。

【藤本会長】

先ほどの相馬委員の意見に対して、事務局から補足説明をしていただいた。

校長先生のページ分担については、個人的には雄志中学校と戸野目小学校を入れ替えたほうが良いような気がしている。事前に得意ジャンルを教えていただければ、良

い割り振りができると思っている。

【青木委員】

一つ確認である。このパンフレットの文章は大体どのくらいのレベルを想定しているのか。小学校の高学年が読めるくらいのレベルか。

やはり校長先生がいらっしゃると、その辺のレベル合わせは助かると思う。

【小林センター長】

実はこのパンフレットは、子ども向けと大人向けの両方を作ること考えている。学校の先生に入っていていただくこと理由としてはそういうこともある。

【千代委員】

例えば、3人の校長先生が全員Aグループを希望した場合にはどうするのか。バランスを考慮して調整するのか。

【小林センター長】

本人の意思を確認しながら、調整したいと思っている。

また、ページ分担や構成員等については、今後の調整により若干の修正が生じることをご了承いただきたい。

【千代委員】

最近欠席の委員が多い。どんな状況か教えてほしい。

【小林センター長】

皆さんお忙しいとは思いますが、なるべく出席いただけるよう促している。

出席された際にはこのような役割分担でお願いしたいということである。今後も引き続き促していきたいと思うので、ご理解いただきたい。

【藤本会長】

欠席されている委員については、事務局から絶えず声掛けはしており、これからも同様に続けていただく。そこから先は本人の意思もあるのであまり言えないが、できるだけ出席いただけるように事務局にお願いしたいと思う。

【大滝委員】

3つのグループに分かれて進めるという話だが、実際に各グループでの活動について、誰が指揮を執ってどのように進めるのか。

【小林センター長】

リーダーを決めるのがよいと思っている。事務局として私たち職員も各グループに

入るので、なるべく皆さんが不安にならないようにサポートしていきたい。

委員が心配されるように、今のうちからリーダーを決めておいた方がはっきりするかもしれないが、やはり皆さんの話合いで決めていただくことが望ましいと思っている。その辺の調整も含めて、事務局が各グループに付くのでご安心いただきたい。

【大滝委員】

もう一つ気になるのは、今までのように月1回の会議ということではなくなるようだが、日中仕事をしている人も結構多いので、例えば土曜日や日曜日に集まるということもあるのか。それともそれは避けた方がいいのか。

今の時間帯でも出席されない方がいるので、昼間の時間帯となるとますます欠席者が多くなるような気がしている。

【小林センター長】

やはりそこは最大公約数を取るべきだと思う。夜のほうが集まりやすくなれば、何とか夜にお集まりいただくことも考えている。今ここで決めることはできないが、なるべく皆さんに負担がかからないように調整していきたい。

【藤本会長】

大滝委員、そのような形で進めてよいか。

【大滝委員】

まだ不安な面が多い。

内容についても、実際に何を載せるか、各自で調べて回るのかなど、その辺の進め方が分からず混乱している。どうしたら上手くいくか分からない。

【小林センター長】

究極に良いものを作ろうと思えばいくらでも時間も手間もかけられる。ただ、私たちはこれを商品として売り出すわけではない。あくまでもまちづくりの一貫として、限られた時間の中で話し合っ作ることが大事なのである。いずれにしても事務局は全面バックアップするのでご理解いただきたい。

【藤本会長】

いろんな不安があることは当然である。センター長から話があったように、誰か一人が頑張っ作るのでなく、皆で作っっていくということを私たちも念頭に置くことで、ずいぶん気が楽になると思う。これからもいろいろな問題点が出てくると思うが、その都度言っただき、解決を図っしていきたいと思う。

この方向で進めることとしてよいか。

(よしの声)

本日いただいた意見を基に、準備を進めていきたいと思う。

以上で、「② 津有区パンフレットについて」を終了する。

次に「③ 地域活性化の方向性の作成について」、事務局より説明を求める。

【山崎主事】

- ・資料4に基づき、作成手順や作成例を説明

【小林センター長】

- ・補足説明

【藤本会長】

今ほどの説明について、意見のある委員の発言を求める。

(発言なし)

正副会長に腹案があるため、資料を配布してもよいか。

(よしの声)

— 資料配布 —

【山崎主事】

- ・説明

【藤本会長】

今日は採決しないが、このような方向性で考えていることをご理解いただけるか。

(よしの声)

【藤本会長】

以上で次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「津有区の特長を生かした地域活性化策について」を終了する。

最後に次第3「その他」の「(1) 次回開催日の確認等」に入る。

- ・次回の協議会日時：2月27日（月） 午後6時30分から
- ・会場：津有地区公民館 大会議室
- ・内容：自主的審議

その他、何かあるか。

(発言なし)

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。